

## 第2次福島市自殺対策計画(素案)に関する パブリック・コメントの結果について

令和6年1月18日(木)から令和6年2月19日(月)まで、第2次福島市自殺対策計画の策定に関するパブリック・コメントを実施し、市民の皆様等からのご意見を募集いたしましたので、その結果及びご意見に対する回答をご報告いたします。

1 意見提出者及び件数 2名(5件)

2 意見の内訳

項目	件数
市の見解について	1件
個別施策について	3件
評価指標について	1件
合計	5件

以上5件の意見に対し素案の修正は行いませんでした。

3 意見の概要と意見に対する考え方

このたび、第2次福島市自殺対策計画(素案)へご意見を賜り、誠にありがとうございました。

いただいたご意見の概要と考え方は次のとおりです。

いただいたご意見については、本計画の策定のための参考とさせていただきます。なお、ご意見の内容につきましては、原文を要約して掲載しております。

No.	章	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方
1	第1章	第1章 計画の概要 1. 計画策定の背景・趣旨	自殺対策計画は自殺を無くすことが目的だと思うが、市はどのような対策を行っていけばよいと考えているのか。	自殺への対策は、本市で実施している関連する施策を総動員し「孤独・孤立を防ぎ、生きることの包括的な支援」を行うことで、自殺の減少につながると考えています。 また、第2次計画では、気づき、傾聴、つなぎ、見守りを生きる支援の柱として位置づけ、その役割を担う「ゲートキーパー」等の人材育成強化に努めます。

No.	章	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方
2	第3章	第3章 自殺対策の 取り組みと「生きる 支援」  2. 基本施策 基本施策3 市民 への啓発と周知	学生や生活困窮者の自殺を減らすために、市職員等が商業施設や公共施設等で、悩み相談窓口の電話番号や福祉制度の受け方を載せたチラシを配った方が良いと思う。	生活困窮者への対策として、こころや健康、家族関係、仕事に関する問題等の各種相談窓口を掲載した「こころといのちサポートカード」を作成し、窓口や関係機関に広く配布をしています。また、学生や児童生徒への対策として夏休み明けの自殺対策として8月中旬に街頭キャンペーンを実施し、相談窓口等を周知します。
3	第3章	第3章 自殺対策の 取り組みと「生きる 支援」  2. 基本施策 ●評価指数 包括的支援体制整備事業の支援プラン検討会議・支援会議における相談件数	評価指標として包括的支援体制整備事業の支援プラン検討会議・支援会議における相談件数を増やすことを目標値としているが、相談件数と自殺者数との相関関係を根拠として設定しているのか。相談がなければ自殺を考えていないということであれば、相談がない方がよいのではないのか。また、死亡届から傾向を把握できないのか。	自殺者数は、国の自殺統計に基づき原因・傾向等を把握しております。相談が自殺の予防となったのかを把握することは困難ですが、相談によって支援制度につながるように努めています。包括的支援体制整備事業では、様々な背景を持った方からの相談をより多く受け、必要な支援が届いてない方を減らすことにより、自殺が減少することに繋がると捉えています。
4	第3章	第3章 自殺対策の 取り組みと「生きる 支援」  2. 重点施策 重点施策2 生活 困窮者の自殺対策	市や県の福祉制度は使い勝手が悪く、生活が苦しくなっても利用できる制度がないと感じる。 条件が厳しい制度を列記しても、実際に離職者や生活困窮者の利用につながらず、犯罪や自殺が急増するのは当然だと思う。	様々な背景を抱える生活困窮者は、自殺リスクの高い方であると認識しています。これらの問題を抱えた市民に対して、個々の事情に寄り添った対応を図るとともに、生活困窮者自立支援制度等の周知に努め、必要な支援へつなぐための取り組みを推進します。
5	その他	—	近年、市内のある商業施設において、飛び降りのニュースが目立つようになったと思う。現状のままだと、そこが自殺の名所になってしまう恐れがある。市や県のイメージダウンにも繋がるため、早急な自殺防止対策が必要ではないか。 具体的には、転落防止の金網やネット等の対策を取るべきと思う。	いただいたご意見を担当部署と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。